

生涯学習・社会教育関係職員研修講座【中南地区研修】

令和7年7月23日(水)13:30～15:30 平川市文化センター 受講者26名

1 内容

【テーマ】「社会教育委員としての役割について

～地域づくりを支える社会教育～」

【講師】青森明の星短期大学 青森公立大学 北里大学

非常勤講師 わたなべ やすゆき
渡部 靖之 氏



【経歴】

高等学校教諭として教育の現場に立ち、その後、生涯学習や社会教育の分野で活躍。1996年に青森県総合社会教育センター指導主事、1999年に国立教育会館専門研修指導主事を経て、2000年から国立教育政策研究所専門調査員として全国的な教育研究に携わる。青森県教育庁生涯学習課では主幹や課長として政策立案を牽引。2019年から3年間高等学校長も務めた。

現在は、大学等で学校教育及び社会教育分野への貢献を続けている。

【講義要旨】

- 社会教育委員は、教育委員会に助言するために、社会教育の計画立案、会議での意見陳述、必要な研究調査を行う職務を担います。また、教育委員会の会議で意見を述べるができるほか、市町村の場合は、青少年教育について助言・指導を行うことができます。
- 社会教育委員は、地域をより良くする核となる存在として、現状を把握し問題の解決や地域の良い点をさらに伸ばすための具体的な取組を推進するという社会的使命があります。その使命を果たすためには、地域住民全員を「キーパーソン」と捉え、「ゆるやかなネットワーク」をつくり、参加型社会を目指した学びを促進することが重要です。
- 中南地区の各市町村においても、委員間の学びの共有に始まり、世代間交流の場の提供、家庭の教育力向上に向けた取組、子どもたちの育成に係る取組など、「行動する」社会教育委員としてできることが様々あるはずです。
- とりわけ必要なのは、現在喫緊の課題となっている、子どもたちをめぐる課題（不登校やいじめなど）の現状を知り、対策を考え、具体的な取組を立ち上げていくことです。
- 地域の未来を担う子どもを共に育てるためには、「地域の教育目標」を定め、地域住民と学校がそれを共有することが大切です。社会教育委員がその中心になって動いてほしいと願っています。

2 受講者の感想

- ・社会教育委員の役割と機能についてよく理解できました。地域社会における社会教育委員の使命を自覚し、行動できる社会教育委員になりたいと思います。
- ・社会教育委員について、具体的で役立つことばかりでした。今まで知らなかったことをたくさん知ることができました。
- ・社会教育委員とは何をするのかという事について、今日初めてはっきりと分かりました。とても勉強になりました。